



ジャンボリーに向けた人材育成について（平成 20 年 9 月定例会）

私は、この2つの大会を成功させるためには、7年後のきらら浜での開催時、実際にリーダーシップをとって活躍することができる人たちを2011年にスウェーデンで開催される世界スカウトジャンボリーに参加させ、そして、その規模の大きさを自分の目でしっかり見て、多くの体験を積んで来ることが一番だと思えます。

山口県単独の隊を作り、スウェーデン大会に参加し、多くの体験を積んだ人材の育成を図ることが必要だと思えます。

世界スカウトジャンボリーを引き受ける山口県として、さまざまな分野での活動が求められる人材育成については、今後どのように進められる予定なのか、ご所見をお伺いします。

【教育長】

日本連盟や県連盟におきまして、組織体制の強化や指導者の育成・確保、スカウト人口の拡大等に、主体的、計画的に取り組まれるように、働きかけをしております。

多彩な場外プログラムやホームステイなど、県民の総参加による取組が必要でありますことから、受け入れ態勢や通訳ボランティア等の人材の養成・確保なども検討をしております。

今後、ボーイスカウト日本連盟等と役割分担して、国・市町・関係団体等と連携しながら、ジャンボリーの開催に向けて、必要な準備に取り組んでまいります。